

## みんなのひろば

Message



市民と編集担当者とのおしゃべりコーナー「みんなのひろば」です。より親しみやすい広報紙をめざして、みなさまからいただいたメッセージを紹介していきます。今回は、前号(52号)のクイズ応募ハガキからです。

▼『くらしの扉』51号「心の声」に耳を澄ましましょう。誰もが若い頃に悩む自分が生きていくことへの問い。感受性が強い人ほど傷つきやすいです。没頭できる何かを見つけ自己表現することでのりこえたい。(60代)

「生きづらさ」を感じることは、誰にでもあることです。そこから歩みだすことができるのは、自分にとって大切な何かを見つけた時なんですよ。

▼6月3日におこなわれた津

名港フェア、紙面を拝読して知りました。次回開催が事前になければぜひ参加してみたいです。(70代)

海外の人たちとの貴重な出会いができる津名港フェア。次回開催は10月だそうです。ぜひ、ご参加ください。

▼津名中学校の食育に力を入れてるところに感銘を受けました。「食は生きるために一番大切な事だと思えますが今は物も豊富でコンビニで24時間いつでも食べ物が入るご時世、共働きの家庭も多く昔程、家庭で手作りする機会が少なくなっている中、子供達に料理の楽しさを知ってもらいたいです。ちなみに私はお料理、大好きです。(60代)

確かに「食」は人が生きる上で最も重要ですね。食べることで笑顔になり、元気になる。ただし、いくら美味しくても、食べすぎには注意

しましょう。

▼「人権意識調査」からテーマ、インターネットについて。普段私たちが便利に使っている、なくてはならないSNSを通して嫌がらせ、中傷など身近な人が苦しんでいる場面がありました。防ぎようがなく無視するしかないのかなと思います。相手には罪悪感がないのだろうと思いが、傷ついている人がいるのです。もっと問題視してほしいです。(20代)

ご指摘、ありがとうございます。傷つけたことに気づいてもらえるようになればいいですね。

### 《メッセージをお寄せください》

クイズ応募ハガキ、FAXやメールでお知らせください。  
Tel 0799-64-2521  
Fax 0799-64-2565  
Eメール: awaji\_jinken@city.awaji.lg.jp

### くらしのトピックス⑭ 淡路市社会福祉協議会

#### 「ひきこもり支援」と「個人情報保護」

先日、「ひきこもり(の人)」を支援に関する先駆的な取り組みを行なう、ある社協への視察研修の機会を得ました。

その社協が支援を始めるきっかけとなったのは、「パチンコにのめりこむ息子に、年金を取り上げられ死にたい」と訴える母親からの相談だったそうです。

その後、集落ごとに民生委員等と、福祉懇談会を丁寧で開催し、地域の困りごとを聞く中で、現在に至ったという話でした。私たち福祉職がしばしば直面する課題に、「個人情報保護」の問題があります。

この問題に対して、「個人情報保護も大事だが、(誰かの)命を守るための情報共有も大事では?」の言葉に、参加者一同、目から鱗でした。

本題のひきこもり支援に話を戻しますが、社会参加の機会を促すフリースペース、就労の意欲を促す内職作業、子どもへの学習支援などを行なっており、今後の取り組みに大変参考になる視察でした。

### ほわんと手話!! 第42回

手話は、ろうあ者が日常使用しているコミュニケーションの方法です。このコーナーでは、手話やろうあ者の生活等を紹介していきます。

#### 「誰?」



手指の背をほおに当てる

#### ろうあ者の日常生活を知ろう⑰

朝起きるときは、目覚まし時計の音は聞こえないので、振動するものを枕の下に置き、タイマーをセットします。それでも、朝になると頭から枕が外れているときもしばしばあります。タイマーで部屋の電気がつくようにセットするなど聞こえない人は、人それぞれ起きる方法を工夫しています。

協力: 淡路聴力障害者協会  
手話サークル津名